

地元コラボレーションによる共創
「ユキ・タカセ」ブランド
の開発と販売について

小松精練（株）は染色加工のトップメーカーとして、消費者ニーズを的確に捉え、最終製品を視野に入れたもの作りを行っています。

この度、小松精練は北陸地区に強固な販売網を持つ大和百貨店（本社：石川県金沢市片町、社長：宮 二郎）と金沢市在住のデザイナー、高瀬由紀さんとのコラボレーションによる、オリジナル婦人服の企画・製造を行い、4月13日（木）より「ユキ・タカセ」のブランド名で大和百貨店で販売を開始します。

今回の「ユキ・タカセ」ブランドは地元のデザイナー、テキスタイルメーカー、小売のコラボレーションをコンセプトに、全く新しい洋服を産地共創により提案するものです。

「ユキ・タカセ」ブランドは、小松精練と大和百貨店、デザイナー高瀬由紀さんが共同で製品の企画を行い、従来の服作りのプロセスを根本的に変え、生機を裁断、縫製した後に、超小型・多機能染色機「染料役者」で加工を行い、ナチュラルなハンドメイド感覚の表面感と独自の風合いを持つ、個性的な洋服を実現したものです。

また、超小型・多機能染色機「染料役者」で加工を行うことにより、絞り染めやムラ染めなどのハンドワークによる「あなただけの一着」を可能にしました。今後は、着る人の好きな色に染める「あなただけのカラー」での生産も予定しています。さらに、将来的には注文の翌日に商品が店頭へ届く、QRシステムの確立を目指し、無駄な在庫を持たずに販売機会のロス無くす体制作りを進めていきます。

小松精練は今回の「ユキ・タカセ」の企画で得た売り場の情報を今後の商品企画に生かし、北陸産地の更なる活性化を行っています。

1. 「ユキ・タカセ」ブランドの特徴

①地元のデザイナー、テキスタイルメーカー、小売を垂直連携で結んだコラボレーション企画による

従来にはない洋服の提案を行っています。

②生機→裁断→縫製→加工という従来の服作りのプロセスを根本的に変えることにより、糸や素材の持つ特性をフルに生かしています。

③素材特性を生かした加工技術をデザインに生かすことにより、ユニークな表情を持たせることが

可能です。

④半製品（生機→裁断→縫製までの工程）を用意しておけば、着る人の好きな「あなただけの色」でクイックに染めることが出来ます。

⑤絞り染めやムラ染めなどのハンドワークを加えた「あなただけの一着」を作ることも出来ません。

2. 「ユキ・タカセ」ブランドの営業政策

■営業目標 初年度 1. 5億円

3年後 8億円



《高瀬由紀さんのプロフィール》

1984年 金城ファッションカレッジ卒業

1987年 フリー活動開始

地場産業素材での企画提案、ファッションショーなど幅広く活動

2000年 ブランド「ユキ・タカセ」立ち上げ



以上

BACK